



エアーカーテン (NA-12D) 取扱説明書



■取付時の注意事項

※設置開口部の間口と同一か少し長めのエアーカーテンを設置してください。

1. 標準取付（本体水平）の場合は吹出口が下になるよう取付けてください。
2. エアーカーテンの吸込口は「取付のすき間」に従いすき間をあけてください。
エアーカーテン流が生成できない場合があります。
3. 連続して取付る場合は壁取付板の間隔は「取付のすき間」に従いすき間を空けてください。

「取付のすき間」

	NA-12D
壁取付の場合の、吸込口から天井までのすき間	50mm 以上
側面に壁がある場合の、壁取付板から壁までのすき間	20~25mm
連続して取付ける場合の壁取付板の間隔	40~42mm

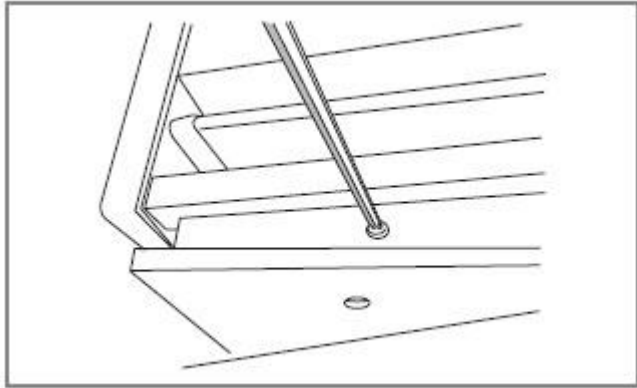
4. 振動のない堅固な場所に設置してください。
(空振・騒音 又は部品が壊れる恐れがあります。)
5. 室内に取り付けてください。
6. 気温が -10°C 以下の場所、又は 50 度以上の場所には設置しないでください。
7. 出入口がエアーカーテンより広い場合は、 2 台以上の製品を並列に取りつけてください。
8. 床面から 2.3m 以上の高さの場所に設置してください。
9. エアーカーテンを使用する場合、出入口をエア一遮断しますので、室内は必ず換気(第一種換気)を行ってください。

※ 次のような場所での設置・使用はおやめください。

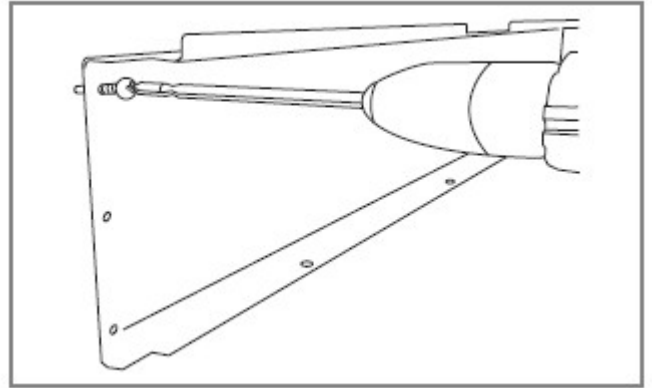
- ・ 気温が -10°C 以下の場所、又は 50 度以上の場所
- ・ 結氷現象が発生する場所
- ・ 湿気の多い（湿度 80% 以上）場所又は蒸気が発生する場所
- ・ 油の煙が発生する場所
- ・ 爆発性の粉塵及びガスが発生する場所、または発生する可能性がある場所
- ・ 腐食性のガスが発生する場所
- ・ 特殊薬品を使用する場所
- ・ 水がかかる可能性のある場所
- ・ 霧困気中に粉じん、油分が多い場所
- ・ ゴミやほこりの多い場所

■ エアーカーテン本体の取付方法

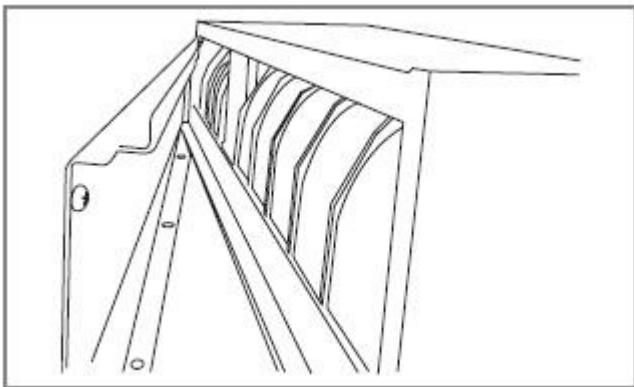
1. 本体の吹出口の下部の固定ビスをはずして、本体から壁取付板を取りはずします



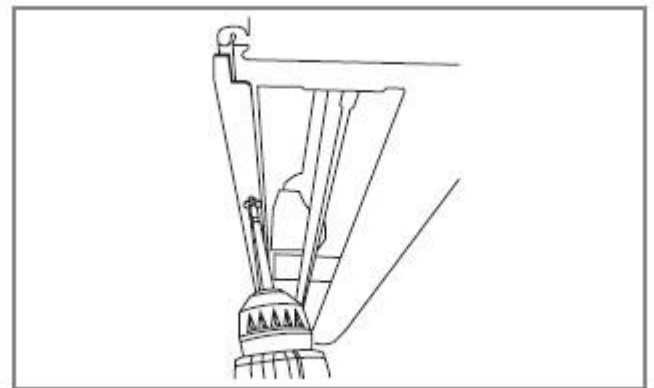
2. 設置する場所を決め、ビスで壁取付板を固定します。



3. 本体の引掛け部を壁取付板の引掛け部に差し込み、止まるまで下げます。



4. 本体と壁取付板をネジで固定します。

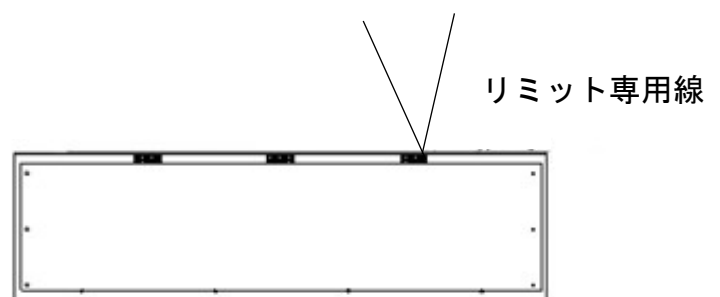
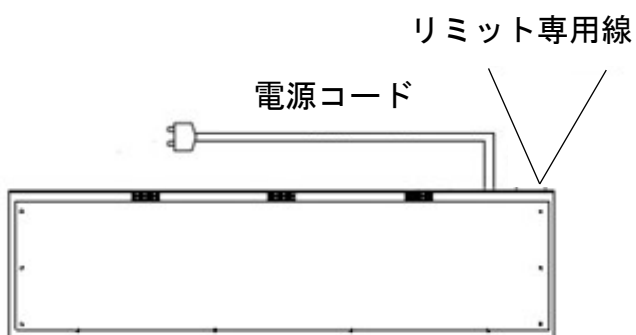


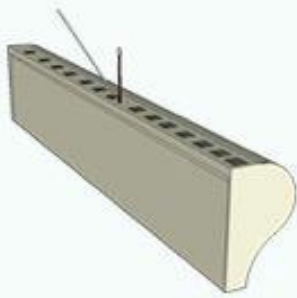
■ リミットスイッチ取付方

※エアーカーテンをドアと連動させる場合は、下記の取り付け方法を参考にして、

リミットスイッチ（別途販売）を取り付けてください。

※リミットスイッチは、弊社エアーカーテン専用のものをお使いください。





① 本体には電源コード以外に(ドア連動用)リミットスイッチ専用線が出ています。リミット専用線は白と黒の2本線です。



②リミットスイッチ(別途販売)にも、グレーの電線が2本出ています。本体のリミット専用線とリミットスイッチから出ている電線をつないでください。



③結線したマグネットリミットスイッチをドアの固定枠側に取り付けます。相手側を可動ドアに取り付けます



ドア連動用リミットスイッチ

■ 試運転

取付工事が終わりましたら、再度結線が間違っていないか確認して正常な運転ができるか、また本体の取付けが確実で振動・異常音がないか確認してください。

■ 使用方法

1. 本体又はリモコンの電源ボタン(POWER)を押すと運転が始まります。
2. 風速は3段階調整ができます。[強(MAX)/中(MID)/弱(LOW)]
3. 現場の状況に合わせて、ダンパを動かして風の向きを調節してください。
4. 運転を止めるためには、本体又はリモコンの電源ボタン(POWER)を押してください。

■ ドア連動用リミットスイッチを設置した場合

※停電で本体の電源が消えてしまったり、しばらくの間使用しないで電源を切っておいた本体に再び電源を入れる時は、

ドアを開けた状態で電源を入れてください。

ドアが閉まったままの状態だと、(リミットスイッチが作動し)本体に電源が入らなくなります。

■ お手入れの仕方

1. 2週間に1回は吸込口のカーバーとグリル、ファンの汚れの掃除を行ってください。
2. 中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸した布で汚れを引き取り、洗剤が残らないように乾いた布できれいにふき取ってください。
3. モーターのベアリングはシルドボールベアリングを使用しているので注油の必要はありません。
グリスの寿命は約1万時間なので、使用状況によっては点検後ベアリングの交換が必要になります。
ベアリングの交換は、販売店に問い合わせてください。

[お願い]

- ・製品を点検・手入れする時は、必ず電源を切ってください。
（ケガや感電の原因になります）
- ・手入れの時は、必ず手袋を着用してください（指をけがする危険性があります）
- ・お手入れの際、下記の溶剤は使用しないでください。
：シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、
化学ぞうきんの薬剤。
- ・絶対濡れた手で機器をさわらないでください（感電の原因になります）
- ・機器に水をかけないでください（感電の原因になります）
- ・本体にぶら下がらないでください（落下によるケガの原因になります）
- ・電源コードが破損した場合は、事故防止のため代理店、または電気工事店に連絡をし、
電源コードの取り換えを行ってください。